

令和5（2023）年度 第1回 下都賀地区臨時採用教員研修会を開催しました

日 時：令和5（2023）年6月16日（金）13：00～16：00

会 場：下野市立南河内小中学校

参加者：栃木県教育委員会採用で、令和5年4月1日から初めて臨時採用教員として採用されている
管内の常勤の講師・助教諭・養護助教諭等

1 研修内容について

- (1) 目的 ①授業参観及び授業研究会を通して、学習指導や児童・生徒指導、学級経営等について基礎的な指導力の向上を図り、自信と希望をもって日々の教育活動に取り組めるようにする。
- ②職務に専念することなど、教員としての使命を自覚し、自己啓発に努めようとする態度を養う。
- (2) 内容 ・講話「臨時採用教員の職務について」 下都賀教育事務所学校支援課管理主事
・授業参観
・研究協議（教科・領域等部会、養護助教諭部会）

2 本研修で確認したこと

- (1) 教職員の服務について
- 服務規律の確保等について
- ・体罰及び言葉による暴力の禁止
 - ・交通違反
 - ・セクハラ・わいせつ行為の禁止
 - ・SNS上での不適切な情報発信
- (2) 学習指導について
- ねらいを明確にした授業展開
- ・本時のねらいを達成するための、指導・支援、振り返りについて
- 教師の関わりや働きかけ・学級経営
- ・子どもたちとの関係づくりにおける適切な言葉かけ、接し方、関わりについて
- 特別支援教育の視点からの授業づくり
- ・安心感を高める指導・支援について

3 本研修で学んだこと（参加者が記入した〈研修の振り返り〉より）

- 子どもに意見を出してもらおう際の工夫の仕方や、振り返りを充実していくための手法、評価を授業に生かすために使うことを学ぶことができました。
- 今日の研修では、学校外の先生方と話せたこと、また小中といった学校種の違いや、担当教科の違いから多くの考えに触れることができたため、非常に参考となりました。
- 本日の研修で、教員としての自覚を持ちながら子どもと関わるのが重要であることを、改めて確認できました。自分と同じ状況の方々と南河小中の先生方の授業を参観し、自分に足りない所が見えてきました。明日からの現場に生かせるように、子どもに寄り添う気持ちを忘れず、全力で取り組みたいと思います。

- 子どもが自己有用感を感じる授業づくり、学級づくりのための言葉かけや意識すべきことなど多くの学びを得ることができました。全体と個別での指導の使い分けや、子どもが学びに向かったり、互いに認め合ったりする習慣づくりや環境づくりなど、すぐに取り入れられる発見が多くありました。
- 私も普段特別支援学級の算数の授業に出ているので、授業者の先生の声かけや動きなどがとても勉強になりました。特に問題がわからない子どもに対してのヒントの与え方が印象に残っています。答えを教えるのではなく、スモールステップで少しずつヒントを与えることで子どもの気付きにつながっていたと感じました。
- 学習の見通しを持てるように本時の流れを示すことが大切だと感じました。また、特別支援学級での一斉授業に対するイメージがつかめてとてもよかったです。授業の進め方や、日頃の子どもの関わりなど、授業の見学や協議を通して学ぶことができました。特に特別支援学級においては、一人一人の子どもに合わせて対応や学習内容を変化させるなど大変な部分もありますが、その分子どもの視点に立って、授業の仕方や流れを考えることを大切にして、子どもが「できた」を実感できるような授業づくりをしていきたいと思います。
- 特別支援学級の授業では、子どもが集中できる環境づくりが大切だと改めて実感しました。特に、めあてや授業の流れを可視化することで子どもが集中しやすい環境がつけられると感じたので、今後の授業に生かしたいと思いました。
- 本日の研修では「導入の工夫」について学びました。数学の授業の導入で、動画を使っていることがとても印象的でした。授業者の先生が、「子ども側がやらされているという感覚にならないよう工夫した」とおっしゃっていました。私も子どもが「考えたい」という気持ちになるような導入を意識していきたいです。
- 特別支援の子どもたちは「困った子ではなく、困っている子」や、その子がうまくいっている時の環境、背景をよく考えるなど、プラスな部分に目を向けてあげることが大切だと学びました。これからは、一人一人の子どもたちのことを支援するためにもその子の「できた!」に触れていきたいと思いました。
- 授業を参観した際、教室の環境づくりが1番始めに驚きました。掲示物の位置や、板書の使い方など、自身の教室づくりの参考にしたいと思います。研究協議では、子どもたちの苦手な部分やうまくできない部分について話すことが多くなってしまったが、子どもたちのうまくできる所や得意な所を伸ばしていきたいと思いました。
- 自立活動について、子どもが困っているときに自分でどう切り抜けるかという手段を学べる場、という目的も1つあるということをよく理解することができました。
- 同じ立場の先生方とお話しすることができて、自分だけが不安でいる訳ではないのだと感じることができ、とても有意義な時間になりました。指導するにあたり、できないことを無理矢理できるようにするのではなく、うまくいったときの状況を把握することが大切だと学びました。
- 「教職員のサービスについて」の講話で、子どものことを1番に考える視点が重要であることを改めて感じました。また、養護助教諭という立場で授業参観させていただき、子どもとの関わり方や集団指導で意識すべきポイントを学びました。子どもが健康について知りたい・実践したいと思えるような工夫を考えていきたいと思います。



(全体会の様子)



(授業についての研究協議)